



会長あいさつ

熊本県立菊池農業高等学校同窓会

緑水会会長 松永幸久



早いもので、平成三十一年三月の同窓会総会において、緑水会の会長を引き受け二年が経過いたしました。

この間、同窓会活動に対しまして、会員をはじめ学校関係者の皆様から温かいご支援とご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

ご周知のとおり、昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大が全世界を席巻。社会・経済活動に大きな影響を与えております。

教育現場においても学校内での集団感染クラスター対策や授業時数不足の対応など大変苦慮された一年ではなかったかと思えます。

また、様々な学校行事や勉学・部活等の成果を発表する場もなくなり、生徒たちにとってもつらい年であったと思えます。

この中であって、本校では、大きな混乱もなく在校生が安心して学校生活を送ることができたこと、

減少による生産基盤の脆弱化、地域コミュニティの維持に対する懸念等、食料・農業・農村をめぐる情勢は大きく変化していると思われ、

さて、農業を取り巻く環境を見てみますと昨年六月発刊された「少子高齢化、人口減少の本格化、ライフスタイルの変化と海外市場の拡大、農地面積や農業就業者数の減少」



農業科 (実習風景)



園芸科 (葡萄販売会)



畜産科学科 (子牛への哺乳)



食品化学科 (シソジュース生産実習)



生活文化科 (田植え実習)



農産物販売会 (11月8日)



1学年音楽発表会



1学年音楽発表会 (太鼓部演奏)

コロナ禍の中での一年

校長 木庭敬勝



本校同窓会『緑水会』の皆さんにおかれましては、如何お過ごしでしょうか？

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで経験したことのないような事態に陥り、同窓生の皆様の中にも大変な思いをされておられる方も多くいると推察いたします。

心よりお見舞いを申し上げます。学校では、三月二日より全国一律に臨時休校に追い込まれ、その期間が五月末まで続きました。

卒業式や入学式も感染防止のために最低限の人数に絞りながら、縮小

版で挙行了しました。また休校中には言えども、農業高校には家畜や作物等が育っています。早朝から苗管理や鉢上げ及び栽培管理等を普通科の先生方も一緒に行っていました(六月二日のKKT「テレビタミ」で取り上げられ放映されました)。

六月から学校は再開したものの、なかなか感染症は収まらず、例年のような教育活動や学校行事等が出来ませんでした。本校の特徴の「研修入寮」も全く出来ておりません。

高学年にとりまして人生の一番多感なこの時期に、いろいろな体験ができないことは残念で仕方ありませんでした。本当に気の毒で、大変申し訳ない気持ちになりました。

本校生徒の成長は、教室での授業だけでなく、友達とのふれあいや専門教科の実験・実習、学校行事や部活動、また生徒会活動や農業クラブ活動、校外活動やボランティア活動など、様々な体験を通して大きく成長するものと考えています。

三年生の進路状況について少し紹介いたします。十二月二十二日現在で約九割の生徒が決定しております。

令和2年度 会務報告

- 2/10 役員会
2/29 令和元年度 会計監査
3/1 第56回卒業式(新型コロナウイルス感染防止のため来賓不在)
3/14 緑水会役員会総会(新型コロナウイルス感染防止のため延期)
4/9 令和2年度入学式(新型コロナウイルス感染防止のため来賓不在)
7/21 役員会
令和元年度緑水会「総会」の書面決議について
令和元年度緑水会「総会」の書面表決書…送付(議案決議は書面による審議で行う)

- 新型コロナウイルス感染防止のため中止した行事等
・タイ王国交流
・緑水会入会式
・緑水会ゴルフ大会
・就農プログラム&進路ガイダンス
・菊池農業高等学校体育大会
・熊本県立農業関係高等学校同窓会会長連合会
・第10回 グラウンドゴルフ大会

事務局より
全国あるいは熊本県内で、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。また、皆さまにおかれましても不安な日々を過ごされていると思えます。それぞれが3密回避やソーシャルディスタンスを守り、一日も早い事態の収束が出来ればと祈っています。

七城走ろう会 歴史トリーク

旧菊池西農業高等学校・菊池農業高等学校 旧職員 嶋田 一郎 (菊池農蚕高等学校専修科 昭18年卒)



平成30年撮影：一郎さん(88歳)、時枝さん(84歳)

お二人のなれそめをお聞かせ下さい。

一郎さん・菊池西農業高校に勤務していた時、妻は同校の事務員でした。職場の同僚として、また登山や旅行、江津湖のボート遊びなどで好印象を持っていました。その後、昭和二十九年三月、上司の勧めもあり結婚しました。

結婚退職されたその後七城町役場に勤められたのはどういう経緯からですか？

時枝さん・子供三人が成長し、手がかからなくなった頃、ちょうど役場に欠員補充があり、高校事務の経験を買われ、教育委員会に採用されました。昭和四十四年です。

教育委員会時代にナイトハイクをされたとか聞きましたが…。

時枝さん・草千里から熊本YMC Aまでの五十キロハイクに誘われ、軽い気持ちで歩いたのですが、とてもきつく熊本YMC Aまで完歩

第4回阿蘇スカイライン健康マラソン (S.59・9・23)



しましたが、足が動かなくなり、友人に迎えに来てもらった苦しい経験があります。

一郎さんもナイトハイクに参加されたのですか？

一郎さん・はい、参加しました。これまで妻が何度か歩いていましたので、私も一緒に挑戦しました。大観峰から温泉ドームまでの四十六キロでしたが、途中私と怒留湯さんが抜きつ抜かれつの競争になりました。これが彼との最初の出会いでした。



同窓会七城支部役員による豚肉加工 (H12.12.25)

七城走ろう会が出来た経緯はどのようなものでしたか？

一郎さん・昭和四十七年の第一回天草パールラインマラソンには筑紫さん(初代会長)ら二、三人の参加でしたが、徐々に走ろう会発足の気運が高まり、昭和五十三年に誕生しました。創設当時筑紫会長ら総勢十四人の会員でしたが、その後女性を含め二十人近くが入部しました。

七城走ろう会創設の頃の楽しかった思い出はありますか？

一郎さん・天草パールラインマラソンには走ろう会のメンバーが毎年欠かさず出場し、大矢野に建てられた記念碑にはメンバーの寄付



夫婦で登山 利尻岳 (H13.7.4)

指宿マラソンに行かれた話をよく聞きましたがどんな様子でしたか？

一郎さん・現メンバーでもある高木兄弟と怒留湯さんらと出場した時、目の不自由な田代さんがレースの復路で一時的に不明になり、周囲の心配をよそに、本人はケロッとして現れ、胸をなでおろした思い出があります。

ご夫婦はどんなことを健康法としてやっておられますか？

一郎さん・夫婦で、月一回ペースで近場の山に登り足腰を鍛えております。他にグラウンドゴルフ、ペタンク、詩吟、囲碁などに挑戦しています。健康を維持することで、北米、オーストラリア、アジア各



菊池農業高校「農業機械」実習風景 (S.39)

国、ハワイなどの海外旅行にも出かけることができました。

テレビ(TKU放送)で披露された「嶋田健康体操」はどのような経緯で開発されたのですか？

一郎さん・七、八年前テレビや本の健康教室の中から自分で選んで自分なりの体操を作り、「嶋田健康体操」として頭から足の先までじっくり十五分程度行います。冬でもうっすら汗をかきます。早朝起床し、ベッドで嶋田健康体操をして、締めくくりに詩吟を詠じながらの妻とのウォーキングです。おかげ様ですこぶる元気です！

今からの目標は？

一郎さん・百歳を目標に、楽しく生きて行きたいと思っています。

母校である菊池農業高校に40年以上勤務され、ご退職後も益々お元気な嶋田一郎さん(90歳)。

七城走ろう会の創設メンバーで、現在は同会名誉会長です。奥様の時枝さん(86歳)とともに健康レジェンドのご夫婦です。嶋田さんのご希望で、今回は「七城走ろう会」のインタビューを掲載させていただきました。

緑師会会員 平山尚信さんが令和三年一月に逝去されました。謹んでお知らせ申し上げますと共に冥福をお祈り申し上げます。熊本県立菊池農業高等学校同窓会 緑水会事務局一同

Table with columns for graduation year, school type, university name, and company names. Includes sections for '過去3年間の卒業生進学合格一覧' and '過去3年間の主な就職先企業一覧'.